



花乃家  
詞を名せしむ

新  
20  
6

12  
20  
2



花宴

花宴 花宴といふをせり但巻の約は南殿の極の宴  
せよと云ふは阿ふて奥の二条にゆくとの友の宴の不和の  
花の宴と云ふは阿ふて奥の二条にゆくとの友の宴の不和の  
つやと云ふは阿ふて奥の二条にゆくとの友の宴の不和の  
らりゆらりゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら



南殿の極の宴と云ふは阿ふて奥の二条にゆくとの友の宴の不和の  
花の宴と云ふは阿ふて奥の二条にゆくとの友の宴の不和の  
つやと云ふは阿ふて奥の二条にゆくとの友の宴の不和の  
らりゆらりゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら



花宴 花宴といふをせり但巻の約は南殿の極の宴  
せよと云ふは阿ふて奥の二条にゆくとの友の宴の不和の  
花の宴と云ふは阿ふて奥の二条にゆくとの友の宴の不和の  
つやと云ふは阿ふて奥の二条にゆくとの友の宴の不和の  
らりゆらりゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆらゆら

花宴詩頭春夜放櫻苑延長四年二月十七日清涼殿  
 卷宴詩題櫻繁春日斜此夜之例よりさへりし  
 厚顔作又西世の事なり形安南殿苑宴例事  
 皇康保二年二月松栢樹於南殿有苑宴詠古詩讀新  
 秋云云は時を採韻よりけりしりしは南殿の松と御覽  
 の例也又瓦礫の西世の後の事なれとも准按より月迄き  
 也や

さいりつしめりあり南殿の松のえん 和延長四年二月十日の宮けお所の准按よりあはれり瓦礫の  
 以門奉命 係氏十九宰相中将正三位  
 今此苑宴也 南殿の松のえん  
 相つきのあはれ 南殿の松のえん  
 赤の事三月 南殿の松のえん  
 女長けりて 南殿の松のえん  
 南殿の松のえん 南殿の松のえん  
 大略草創より 南殿の松のえん  
 の松と自記し 南殿の松のえん  
 松ととも根のえんも心ちりしげらるるはみこころ上道ありりし  
 今も僅か前か 南殿の松のえん  
 今も返り流 南殿の松のえん  
 再遊しち師 南殿の松のえん  
 左近の松と云 南殿の松のえん  
 春夜の四陪 南殿の松のえん  
 拾芥抄云 南殿の松のえん  
 中山右府止作 南殿の松のえん  
 殿前庭櫻樹 南殿の松のえん  
 樹者本是梅也 南殿の松のえん  
 相武天皇遷都之日 南殿の松のえん  
 所被植也 南殿の松のえん  
 而及兼和年中 南殿の松のえん  
 枯失仍仁明 南殿の松のえん

天皇被改封也云云 是衣の帝常寧殿の苑家も守安席といは清涼殿ぞり  
りけりぬ苑の苑家も南殿乃橋の流りて宴といは清涼殿よりせりて  
いふ事しむるべき

后宮家 白居の屋臺其字の牛脊流し  
左より 西南殿の事あり事字の左末あり一居の西より一明苑を是衣の例  
といは清涼殿より流りて流りていふ事しむるべき

こころの妙印 細居つかに之居とこされ流りて流りて各あり一字の  
いふ事しむるべき 白居の事あり是衣の事ありと云うて是衣の事あり  
いふ事しむるべき

一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり  
一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり

一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり  
一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり

一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり  
一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり

一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり  
一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり

一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり  
一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり

一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり  
一字の事あり 白居の事あり 白居の事あり 白居の事あり





はるか昔の事かき 秘傳の事かき 秘傳の事かき  
... (Main text on the right page) ...

... (Main text on the left page) ...

細原 秘伝云  
廊の事を後より四返に廂と云ふ事をもて点をもてせんれ











一してその路を例の通りならしめしむる事也

いふにやうな事はいふにやうな事なり

すなはちその路のまはれいのかゝる事也

それごとくもあらばさういふ事なれば

これより先きにさういふ事なれば

いふにやうな事はいふにやうな事なり

すなはちその路のまはれいのかゝる事也

それごとくもあらばさういふ事なれば

これより先きにさういふ事なれば

いふにやうな事はいふにやうな事なり

すなはちその路のまはれいのかゝる事也

それごとくもあらばさういふ事なれば

これより先きにさういふ事なれば

いふにやうな事はいふにやうな事なり

すなはちその路のまはれいのかゝる事也

それごとくもあらばさういふ事なれば

これより先きにさういふ事なれば

いふにやうな事はいふにやうな事なり

すなはちその路のまはれいのかゝる事也

それごとくもあらばさういふ事なれば

これより先きにさういふ事なれば

いふにやうな事はいふにやうな事なり

いふにやうな事はいふにやうな事なり

すなはちその路のまはれいのかゝる事也

それごとくもあらばさういふ事なれば

これより先きにさういふ事なれば

いふにやうな事はいふにやうな事なり

すなはちその路のまはれいのかゝる事也

それごとくもあらばさういふ事なれば

これより先きにさういふ事なれば

いふにやうな事はいふにやうな事なり

すなはちその路のまはれいのかゝる事也

それごとくもあらばさういふ事なれば

これより先きにさういふ事なれば

いふにやうな事はいふにやうな事なり

すなはちその路のまはれいのかゝる事也

それごとくもあらばさういふ事なれば

これより先きにさういふ事なれば

いふにやうな事はいふにやうな事なり

しきり月々くくくくくくくくくくくく

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

二月九日

結女七七年

うさぎめ... 結女七七年

これはいと... 結女七七年

まも... 結女七七年

とも... 結女七七年

取手仕... 結女七七年

射場中... 結女七七年

尾右衛門... 結女七七年

更右衛門... 結女七七年

細平... 結女七七年

賭... 結女七七年

右左衛門... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年

お... 結女七七年



あつたけりし  
まうりしけりし  
まあせ板

あつたけりし  
まうりしけりし  
まあせ板

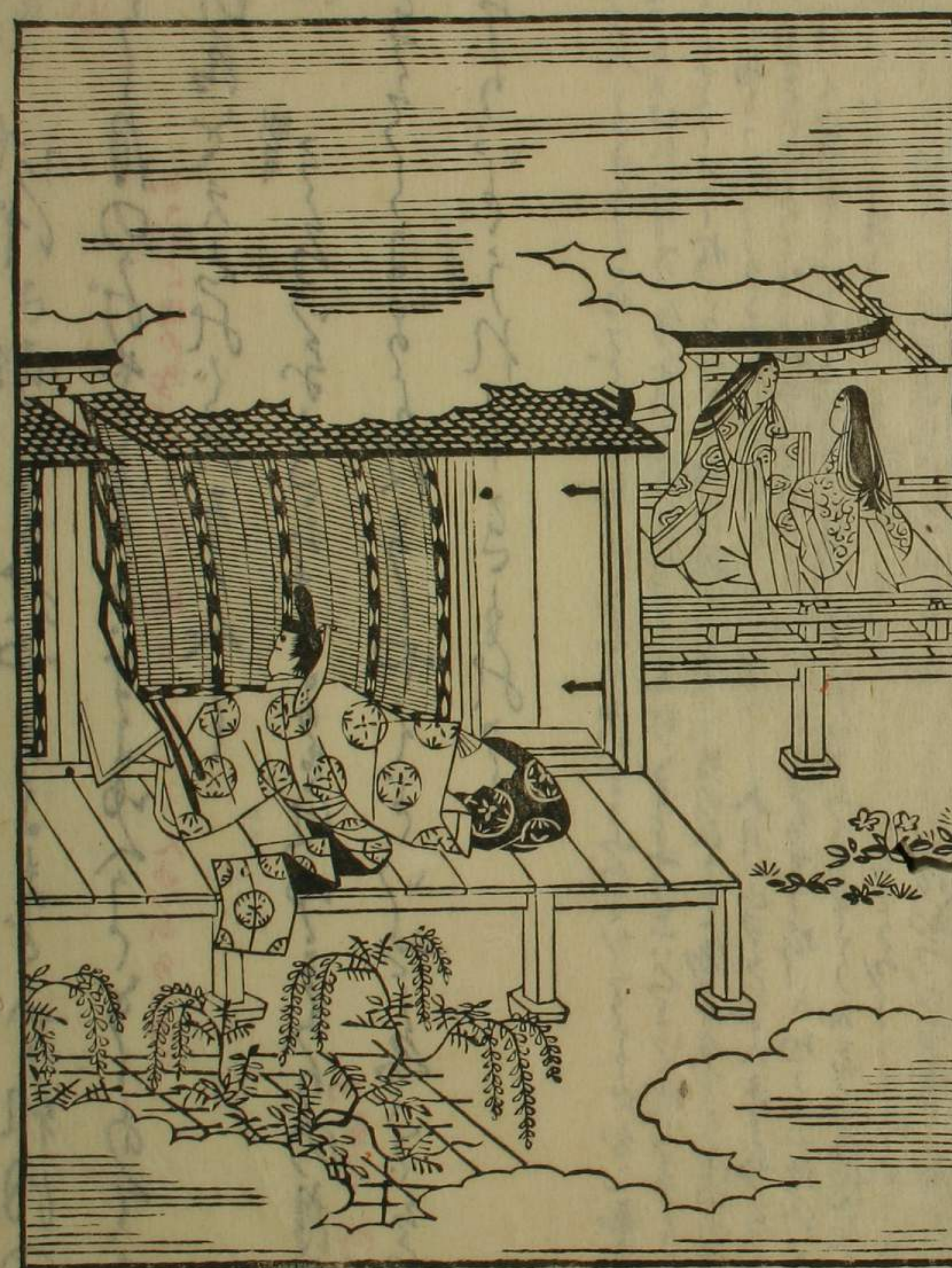
あつたけりし  
まうりしけりし  
まあせ板

あつたけりし  
まうりしけりし  
まあせ板

あつたけりし  
まうりしけりし  
まあせ板

あつたけりし  
まうりしけりし  
まあせ板

あつたけりし  
まうりしけりし  
まあせ板



山

山





